

2020年12月11日

各 位

会 社 名 フリービット株式会社
 (コード番号 3843:東証第一部)
 本社所在地 東京都渋谷区円山町3番6号
 代 表 者 代表取締役社長 CEO 兼 CTO 石田宏樹
 問 合 せ 先 取締役執行役員グループ経営企画本部長 和田育子
 電 話 番 号 03-5459-0522(代表)
 (URL <https://freebit.com/>)

業績予想の修正及び特別損失の計上に関するお知らせ

当社は、2020年6月19日に公表した2021年4月期(2020年5月1日~2021年4月30日)の通期連結業績予想を下記のとおり修正するとともに、2021年4月期第2四半期において、特別損失を計上することといたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2021年4月期通期連結業績予想の修正(2020年5月1日~2021年4月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 54,000	百万円 1,900	百万円 1,700	百万円 △200	円 銭 △9.02
今回修正予想(B)	52,000	2,400	2,300	750	34.31
増減額(B-A)	△2,000	500	600	950	
増減率(%)	△3.7	26.3	35.2	—	
(ご参考)前期実績 (2020年4月期)	55,295	2,587	2,481	△619	△27.93

2. 修正の理由

売上高

コロナ禍におけるテレワークや巣ごもり需要増により、モバイル通信サービスや集合住宅向けインターネット接続サービス等のインフラ系事業は堅調に推移するものの、アフィリエイト広告を中心とするアドテク事業においては新型コロナウイルス感染拡大の懸念等により不透明な状況が継続するものと予想しております。また、9月17日に「連結子会社の異動を伴う株式譲渡及び特別利益の計上に関するお知らせ」にて公表いたしました株式会社フリービット EPARK ヘルスケア(以下「FEH」)及び株式会社アルク(以下「ALC」)の株式譲渡によるヘルステック事業及びエドテック事業の切り離し及び、9月30日に「特定子会社の異動(株式譲渡)及び特別損益の計上に関するお知らせ」にて株式会社ギガプライズが公表いたしました不動産仲介事業の切り離しに伴う売上減少を見込んだ結果、前回予想の△3.7%となる見通しです。

営業利益

期初予定していた投資施策に加え、新中期計画「SiLK VISION 2024」での継続的な成長を企図し、プロダクト開発及びインフラ設備の更改、成長戦略のための人材の拡充、新常态での働き方に適したオフィス環境の構築等、5G本格普及を前にした先行投資を見込む一方、インフラ系事業の堅調な推移による上期

利益の積み上げ及びコロナ禍でマイナス影響を受けたエドテック事業の切り離しによる損失軽減等が寄与し、営業利益については前回予想を上回る見通しです。

親会社株主に帰属する当期純利益

「3. 特別損失の内容」に記載の特別損失の他、5Gの本格普及を視野に入れ、固定網・データセンターの移設及び最適化に伴う投資及びレガシー機材の除却等を見込むものの、営業利益の上方修正及びFEH及びALCの株式譲渡に伴う特別利益の計上を見込むことから、前回予想を上回る見通しです。

3. 特別損失の内容

既存事業の収益性の見直し及び保有資産の再評価により、以下を特別損失として計上することといたしました。

- ・インフラ設備の更改に伴う旧来設備付随資産の除却費 110百万円
- ・個人向けMVNO事業の将来計画見直しによるのれんの減損損失 300百万円
- ・コロナ禍により収益性が低下したアドテック関連事業の減損損失 125百万円

以上

【ご参考】

当社代表取締役社長の石田宏樹より、上記内容及び今後の展開についてご説明させて頂いた動画を本日中に下記にて公開させていただく予定です。ご参照頂けますようお願いいたします。

- ・新中期経営計画骨子「SiLK VISION 2024 にむけて #2」
URL https://freebit.com/ir/movie/movie_20200911-2.html

(注) 上記の業績予想の修正は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により、上記予想数値と異なる結果となる可能性があります。